

患者さんへ

院内トリアージの精度向上・業務改善のための介入とその効果 -対策効果の統計学的検討-

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての以下の情報を公開し、拒否できる機会を保障することが必要とされています。

1. 研究の対象

2023年4月～12月と2025年4月～12月に和泉市立総合医療センター救急外来で院内トリアージを受けられた方

2. 研究目的・方法

自施設が実施してきた救急外来における患者振り分け（トリアージ）の教育と業務改善の成果を明らかにし、その対策効果を統計学的に検討することを目的とし、診療録等の情報を用いて行います。救急外来における患者振り分けは、患者さんの安全を守る最前線のプロセスですが、担当者の経験に左右されやすく、施設ごとのばらつきも大きいことが課題となっています。当院救急外来では、患者振り分けチームの編成、患者振り分けマニュアルの整備、医療面接の電子カルテへの完全移行、患者振り分け担当看護師育成のためのレポート学習、症例毎の一次検証、救急医参加の症例検討会の実施等を継続的に行ってきました。本研究では、教育・業務改善前の患者さんと改善後の患者さんのデータを比較検討することで、これらの取り組みの効果を明らかにします。これにより、救急外来における患者振り分けの質向上に向けた知見が得られると考えられます。

研究の期間：施設院長許可後（2026年5月予定）～2026年11月まで

3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしません。その場合は、「6.お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、同意の撤回またはご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。

4. 研究に用いる情報の種類

情報：患者さんの年齢、性別、来院時の状態、トリアージの結果、診療開始までの時間、緊急度の判定結果 等

5. 個人情報の取扱い

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

和泉市立総合医療センター 看護部 副主任 小坂 耕平(研究責任者)

住所:〒594-0073 大阪府和泉市和気町 4-5-1

電話:0725-41-1331

作成年月日：2026年05月10日（第1.0版）

雛形 2024.11.01sp